



平成 22 年 3 月 29 日

各 位

会社名 ニッパン（日発販売株式会社）  
代表者名 代表取締役社長 石川 隆 重  
コード番号 7563 東証 2 部  
問い合わせ先 取締役常務執行役員管理本部長 佐々木 孝  
(TEL. 03-5690-3001)

## 当社元従業員による不正取引に関する中間報告

平成 22 年 3 月 4 日付「当社元従業員による不正取引に関するお知らせ」にて公表いたしました不正取引に関し、現在までの調査内容につきましてご報告いたします。

株主・投資家の皆様をはじめ、取引先および市場関係者の皆様には、多大なるご迷惑とご心配をおかけいたしますことを深くお詫び申し上げます。

### 記

#### 1. 不正取引の経緯と概要

不正取引を行った元従業員は、営業所の元所長であります。元従業員の担当する取引において平成 22 年 1 月末日に予定されていた仕入先への返品に係る入金がなかったため、社内調査を開始しました。その結果、当該仕入返品は実態のない架空取引であることが判明しました。

これを受けて社内調査を進めたところ、次の事実が判明しました。

元従業員は、平成 18 年 8 月頃から販売価格を数倍上回る価格で購入するという異常な取引を行っておりました。当該取引による損失を隠蔽するため、販売価格を上回らない価格で仕入を計上し、仕入先に支払うべき金額との差額について架空の品番を設定し仕入計上を行いました。この処理により発生した架空の在庫を圧縮するため、他の仕入先口座において架空の仕入返品を計上し、結果として実態のない商品在庫及び買掛金のマイナス残高を発生させました。

元従業員は、不正取引が発覚しないよう、架空の在庫について年 2 回の棚卸時に帳簿上の在庫数量及び金額で虚偽の報告を行いました。また、架空取引の証憑とするため見積書、納品書を偽造し、返品について仕入先が了解していることを装うため確認メールを偽造しました。

なお、不正取引開始の動機については現在までの調査では明らかになっておりません。

#### 2. 業績への影響

現在までの調査により判明している事実に基づく不正取引による損失額は約 387 百万円であり、発生期別の金額は以下のとおりであります。

平成 19 年 3 月期	99 百万円
平成 20 年 3 月期	109 百万円
平成 21 年 3 月期	69 百万円
平成 22 年 3 月期	109 百万円

平成 22 年 3 月期までの税金等調整前当期純利益には、各期毎に同額程度の影響があるものと見込まれますが、具体的な会計処理につきましては、外部調査委員会の判断及び監査法人との協議結果に基づき決定の上、開示いたします。

#### 3. 今後の対応

当該元従業員に対しては、不正取引の内容の詳細に関する調査結果を踏まえて、刑事告訴により刑事責任を追求する予定であり、民事上の損害賠償請求を行うことも検討しております。また、引き続き内部調査及び外部調査委員会による不正取引の全容解明を進めるとともに、再発防止に向けた管理体制の見直しを実施してまいります。

本件につきましては、新事実判明の都度速やかに開示いたします。

以 上